



たんばいんぐ

議会だより

No.45
2016.4

393

億円

豪雨災害からの復旧・復興

「農の学校」調査研究

丹波栗の里整備

空き家利活用対策

地域医療総合支援センター(仮称)準備

防災行政無線の整備

青垣小学校の建設

防犯カメラ設置補助

電気自動車購入補助

婚活おせうかいマスター事業

木質バイオマス

CONTENTS

特集 新年度予算	2
PICK UP! 3月定例会	6
議案の審議結果	10
18人の議員が一般質問	11
病院統合	17
市議会ってなに?!	18
議会報告会を開催します	19
みなさんからのひとこと	20

平成28年度予算

過去最大規模の まちづくり

第 86 回 3 月定例会を、
2 月 24 日から 3 月 25

日まで 31 日間の会期で開
催しました。

平 成 27 年度補正予算と
新年度予算について

は、議長を除く議員全員
によって予算特別委員会
(前川豊市委員長) を設
置し、7 日間にわたり慎
重に審査を行いました。

定 例会最終日の 3 月 25
日には、新年度予算

について委員長報告及び
採決を行い、すべての議
案を原案のとおり可決す
べきものと決しました。

な お、議案審議結果は
10 ページをご覧ください。
やう。



平成28年度一般会計予算

総額 393 億円

過去最大規模のまちづくり

丹あまのの里創生総合戦略・地域防災計画・健康たんば21など
各種計画が実を結ぶ具現化の年

平 成 28 年度は、前年度比 15 億円 (4 %) 増
そ の 393 億円で、過去最大規模となりました。
の要因として、災害発生土を活用したほ場
整備 (2 億 7,783 万円) をはじめとする災
害復旧事業や、地域医療総合支援センター (仮称)
の整備 (2 億 5,057 万円)、防災行政無線の整備
(4 億 1,738 万円)、青垣小学校の建設ほか学校
施設の改修工事 (14 億 5,820 万円) など、先送
りできない大きな事業が重なったことがあげられ
ます。

ま た、民生費では、年金生活者
などへの臨時福祉給付金事
業 3 億 3,405 万円や乳幼児等・
こどもの医療費助成 3 億 732 万
円などが計上されています。

どの事業も、安
全安心な暮らしの
ためには急がない
といけないものば
かりだからね。

ここが知りたい！
過去最高の予算規模…なぜ？



今年は
過去最高の
予算規模ら
しいよ。

ジの幕開け
る丹波市をめざして

平 成28年度は、丹波市豪雨災害から3年目を迎え、生活再建の支援と復旧工事の加速化を図るとともに、復興に向けた土台づくりが進められます。

ま た、市の医療・保健・福祉・介護の拠点となる「丹波市地域医療総合支援センター（仮称）」の準備や総合戦略の具現化、各自治協議会の「地域づくり計画」の推進を支援する新たな交付金制度の創設、若者の定着や出生率の向上に向けた地域経済の活性化と雇用の充実、効率的・効果的な行政体制の整備を進める行革プランの推進などを重点課題と捉え、一般会計総額393億円のまちづくりが行われます。

収入（グラフ左）

地方交付税 どここの市も一定水準の行政サービスが提供できるよう、国から交付されるお金。

国県支出金 市が行う事業に対して国や県から交付される、使い道が決められているお金。

市債 道路整備や学校建設など、一度に多くのお金を要しその年の収入だけでは賄いきれないために国や銀行等から借りるお金。

繰入金 特別会計など一般会計以外の会計から繰り入れるお金や、積み立てた貯金（基金）を取り崩したお金など。

支出（グラフ右）

行政経費 福祉や医療、消耗品費、委託料、臨時職員の賃金、負担金、補助金、繰出金、維持修繕費・積立金など。

投資的経費 市道などの整備や、小中学校など市の施設の改築・立替え、施設の整備に係る費用。

繰出金 特別会計などへの繰り出し。

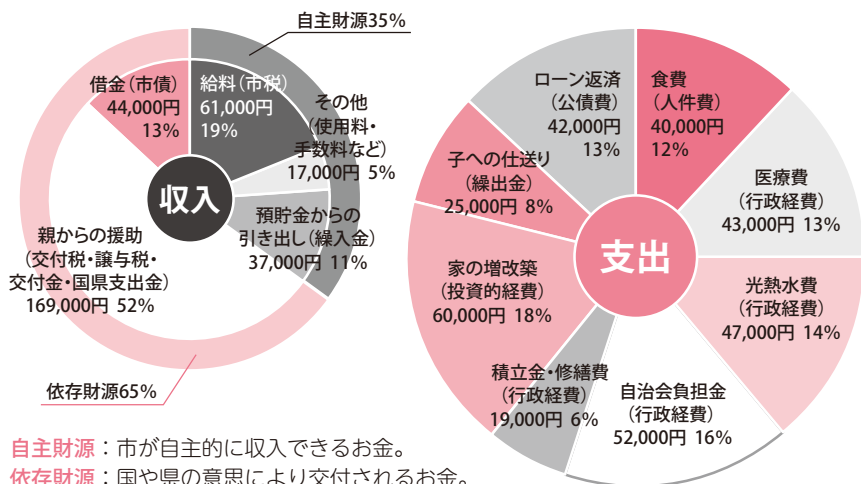
公債費 過去に借りた借金（市債）の返済費用。



たんばさん家の家計簿

1 か月 32 万 8,000 円

一般会計 393 億円を 10,000 分の 1 に縮小し、1 か月に換算しました。



自主財源：市が自主的に収入できるお金。

依存財源：国や県の意思により交付されるお金。

ここが知りたい！

収入の半分以上が親からの援助だけど大丈夫かしら？



借金返済額の割合を示す実質公債費比率では県下41市町中12位、将来負担すべき借金の割合を示す将来負担比率では11位と、いずれも県平均より上位となっています。

* 次ページでは、今年度の主な事業をご紹介します。

平成28
年度予算

市制10年を経て—第2ステージ—
いきいきと活躍でき

「安全安心のまちづくり、婚活支援にふるさと教育、特産品の振興に地域での消費拡大…。今年も大切な事業がいっぱいだね。」



拡充

自治会活動への支援

自治会活動の活性化のため、自治会長への報償金の支払いや、自治会長会の支援、施設整備等を行います。

問 自治会長には報償費があり、自治協議会長には報償費がないのか。

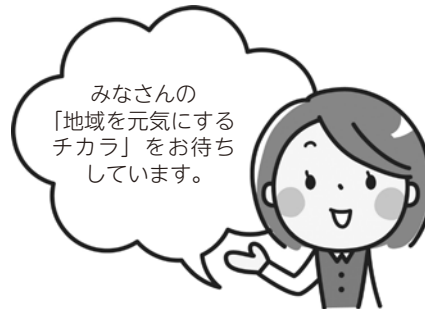
答 各自治協議会への地域づくり交付金を引き上げました。その中から報酬に充てることも含め、各々の地域で決定いただきます。

予算額 1 億 5,672 万円

新規

活躍市民によるまちづくり事業応援補助金

市民提案による公益的活動を支援し、広く市民生活を向上させる事業への補助金を創設します。



問 新規の補助金であるが、どのようなものか。

答 市民からの提案を受けた事業の規模や実現性に応じて対象事業を選び交付するもので、応援型（上限 5 万円）と提案型（上限 50 万円）の 2 種類があります。

予算額 300 万円

新規

新エネルギー普及推進事業

市内の木質エネルギーの活用推進を図る目的で、NPO 法人丹波グリーンパートナーへの運営補助を行います。

問 民間事業の需要創出のために市費を拠出する構図だが、正当な拠出といえるのか。

答 民間の NPO 法人に補助しているものの、事業としては採算が非常に見通しづらいもので、間伐材の有効活用方法として公的に支援を行うべきものと考えます。ただし、5 年で結果に繋げていただくよう、漸減していく予定です。

予算額 700 万円

小さいうちから自治会単位の防災の必要性を学ぶって大事だね。

「たんばふるさと学」で自分が生まれ育った地域の良さを教えてもらえるのっていいね。



新規

教育総務費 防災教育（協働型）業務委託料

丹波市豪雨災害の際に高く評価された「自治会単位の防災」について小学生が学ぶ機会を創ります。

問 防災教育は被災を受けた地域の小学校にのみ展開されていくのか。

答 今年度は被災地域を中心に、市内 4 小学校で先行して防災教育を実施し、順次市内全域に展開していく考えです。

予算額 381 万円

拡充



国の選定保存技術に指定されている檜皮草について学ぶ上久下小児童

ふるさと教育 「たんばふるさと学」の推進

各小学校区に学校支援コーディネーターを配置し、ひと・もの・ことを教材とした授業を通してふるさとへの愛着と誇りを育みます。中学校ではキャリア教育と関連させた取組みを進めます。

問 学校支援コーディネーターとはどのような存在か。

答 学校での学びに求められる地域の専門家やキーマンとの橋渡し役です。27 年度に市内 3 つのモデル校で実施し、28 年度は市内全 25 小学校に配置します。

予算額 127 万円

拡充

防犯カメラ設置補助事業 個人情報保護のため要綱に設置条件

安心安全に暮らせるまちをつくるために、防犯カメラの設置の補助を行います。

問 個人情報の管理については要綱等でどのように規定しているか。

答 私的な場所でなく公的な場所を映すように設置する等の要綱を設けており、要綱について地域で合意を得られているか、または合意が得られる見込みがあることを設置条件としています。

予算額 200 万円



新年度予算 ここに注目★

平成 28 年度も時代に応じた新しい取り組みや事業の拡充がされます。ここでは、各分科会で質疑が集中した主な事業 12 項目についてご紹介します。

新規

出会いから成婚までを支援 「婚活おせっかいマスター」事業

結婚を希望する独身男女に良縁を提供する「婚活おせっかいマスター」を認定し、独身男女の出会いから成婚までの支援を行います。

問 どのように認定するのか？

答 公募に手を上げていただいた方のうち、一定の研修を受講し、活動内容を定期報告することができ、情報交換会等の会議に出席いただける方をお願いします。



「おせっかいおばさん、おじさん」が良縁をサポートします。

予算額 119 万円

新規

地域再生マネージャー事業 (外部人材登用)

地域課題の解決と魅力ある地域づくりのために、地域に密着して活動する外部専門家を登用します。

問 外部専門家はどのような活動を行うのか。

答 地域の現場に入り、住民の意識改革や、地域の方と一緒に現地の資源調査、コンサルティングを行っていただく予定です。

予算額 972 万円

新規

丹波栗の産地復活に向けて 丹波栗の里整備計画をつくります

丹波栗の産地復活に向け、生産・加工・販売に係る振興策のグランドデザインをつくります。

問 具体的な取組みは。

答 県と市が事業費を折半して計画に取り組みます。また、大規模栗園の開園や新植、機械購入に対する補助などにより、栗の振興を図ります。

よし、今年もまた買いに行くぞ。

今年もプレミアム商品券が発売されるね。毎年すごく助かってます！



予算額 200 万円

新規

丹波市版半農半公制度による 農業後継者育成事業

都市圏から丹波市に移住し、地域農業や農業の 6 次産業化などの中心的な担い手をめざす方を、「地域おこし協力隊」として 3 年間任用します。

問 育成事業で、農業の受入研修先の確保はできているのか。

答 これまでの新規就農者の受入先を確保していますので、後継者候補の方々の受入体制は整えています。

予算額 582 万円

継続



昨年の PR チラシと商品券 (見本)

市内での消費拡大をめざし プレミアム商品券を発行

市内の消費喚起と景気浮揚のため、今年もプレミアム商品券を発行し、早期利用のためのスタンプラリーを行います。

問 発行時期と、今までの経済効果は。

答 今年の夏頃を予定しています。平成 26 年度の実施では、5,000 万円の負担で 7 億 4,190 万円の新たな経済効果が生まれたとの成果が出ています。

予算額 5,800 万円

新規

平成 31 年開校をめざして 「農の学校」の調査研究を行います

就農研修施設の設置について、調査研究及び有識者による検討を進めます。

問 調査研究の内容は。

答 31 年の開校をめざして、マーケット調査やカリキュラム、学校の設置場所など、学校の運営全般にかかる調査を業務委託する予定です。

予算額 318 万円

〔議案第1号〕丹波市一般会計予算
丹波市地域医療総合支援センター（仮称）整備事業

新設の県立病院に隣接して 市立の 保健・福祉・医療・介護の拠点を整備します

市内の県立・日赤両病院の統合再編が行われ、県立の新病院が整備されます。これまで両病院が提供してきた診療機能やサービスについては原則として新病院が継承し、在宅医療や健診機能等については新病院に隣接する丹波市地域医療総合支援センター（仮称）が担い、地域包括ケアシステムの中核的な役割を果たします。

問 看護学校の学生寮は決定事項なのか。

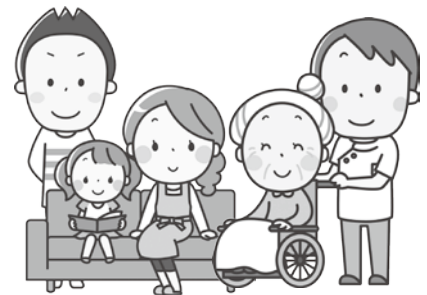
答 今年度、市で購入する土地の一部を学生の寄宿舎にしたいと考えています。

問 市が駐車場用の土地を購入することになった経緯は。

答 土地購入については、病院施設周辺の渋滞緩和を目的とした東

側からの進入路の確保、一般利用者と職員駐車場の確保、雨水の一時貯留施設の整備、看護学校の寄宿舎建設を目的として農地を購入する経費を計上しました。整備は市で行いますが、県市双方が直接受益を受けるものについては、県と市で負担割合を決めていきます。

在宅医療や健診機能などを
総合的に担う
総合支援センターを
整備します。



第 86回丹波市議会定例会を、2月24日から3月25日まで31日の会期で開催しました。このページでは、定例会での質疑のうち主な4議案についてご紹介します。

問 これまでと同様の削減効果を見込めないとはどういうことか。また効率的、効果的、多様な働き方とはなにを指すのか。

答 合併のスケールメリットを最大限生かし徹底した行政改革に取り組んだ第1次・第2次の成果と比べると、人員削減による人件費の減額や地方債の繰り上げ償還、事務事業の見直しも決してやりやすい状態では無いと考えています。また、専門的な能力を持つ人材や、分野を特定して働く等、正規の任期付職員の制度等も含めて、市役所内の多様な働き方を促進するよう検討していきます。



〔議案第1号〕丹波市一般会計予算 空き家対策 計画に基づき市内にある空き家 への本格的な対策を開始します

空き家等対策は、空き家等の状態により各段階に応じて、「発生予防対策」「実態把握・意向調査」「適正管理対策」「利活用対策」「管理不全対策」「相談・実施体制の整備」の6つの対策を柱に空き家の状態や段階に応じて総合的に推進していきます。

問 危険空き家の解体については、当該自治会に説明会を開く予定はあるか。

答 空き家調査を通じて実態把握もしており、自治会から要望があれば現地確認や自治会長との協議を行っています。今後もホームページなどを通じて、幅広く広報していきたいと考えます。

〔議案第1号〕丹波市一般会計予算 ふるさと納税

時代の流れに対応した施策で 寄附者の増加をめざします

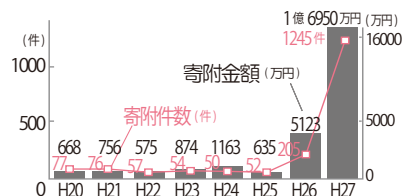
全国的に人気上昇している「ふるさと納税」。市でも数年前までは年間平均 50 件ほどだった寄附件数が、205 件、1245 件と順調に増加しており、そのほとんどが市外からの寄附です。全国からの寄附者のさらなる増加をめざし、返礼品を増やしたり PR に力を入れたりするなど取組みを強化するものです。

問 これまでとは違い、返礼を段階的なものとするようだが、どのような内容となるのか。

答 これまでは、3 万円以上の寄附の場合のみ 4 千円程度の返礼をしていましたが、今年度は返礼の基準額を 1 万円まで引き下げ、30 万円まで段階的に、幅広く寄附額に応じた返礼を行っていきたいと考えています。

問 ふるさと納税の経済的な波及効果は。

答 市外の納税者が多く経済効果は大きいと考えますが、その後商品がリピート購入されているかどうかは把握できていません。ただ、栗や黒大豆は問い合わせが殺到して品切れとなったものもあり、影響は相当大きかったと考えています。



(上) 全国すべての自治体の「お礼の品」と「使い道」が掲載されているポータルサイト「ふるさとチョイス」。(下) ふるさと納税の年度別寄附金額と件数の推移。1 〇 1 千万円以上の寄附や寄附者の増加により、平成 26 ～ 27 年度にかけて大幅にアップした。

ふるさとチョイス 丹波市 検索

3月 定例会

条例の改正や補正予算などを含む 69議案について慎重に審議

3月定例会 2月24日～3月25日(会期31日間)

委員会付託議案：総務 21 件、民生 6 件、産業建設 17 件、予算特別 25 件

〔議案第18号〕第3次丹波市行政改革プラン策定

将来にわたって安定した行財政運営を 維持するために行革プランを更新します

将来にわたって安定した行財政運営を維持するためのビジョン(将来展望)として、「第3次丹波市行政改革プラン」(平成28年度～平成36年度)をつくり、第2次丹波市総合計画の実現をめざすものです。

これまでの行政改革により約 154 億円の効果額等はあったものの、人員削減の進捗に比べ財政規模は横ばい状態であり、職員数と事業量のバランスが悪い状態にあります。第3次行革プランでは、市民や中間支援組織にも活躍いただきながら、構造的に解決していくべき課題等に取り組んでいきます。

問 職員適正化計画で、職員をこれ以上減らすのは無理ではないか。

答 600 人体制をめざしていましたが、消防署・看護学校の職員の増員があり現在 665 人です。平成 34 年に 630 人をめざします。

問 任期付き職員、民間からの派遣出向など新たな雇用形態を検討するとしているが、官製ワーキングプアをまた生み出すのではないか。再任用制度を早く実施すべきではないか。

答 生み出すとは考えていません。再任用制度は 2 年後に実施します。

問 (行革プランにある) 公共交通網の整備とは。

答 庁舎、支所の検討とセットで考えています。将来的に検討が必要な支所の統合を考える際、公共交通網を整えないと不公平がおきてしまうことを危惧しており、公共交通網の整備もあわせて考えます。

総務常任委員会

〔議案第 14 号〕 朝阪・福田辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定（福田坂改修）

福田坂の急勾配・急カーブ箇所の改修のため整備計画をつくりま

朝阪・福田辺地の市道特 16 号線について、峠部分の急勾配急カーブ箇所の改修工事のため、新たに辺地総合整備計画をつくるものです。
事業期間：平成 28 年度～5 年間
事業費：2 億 9 千万円（辺地対策事業債）

問 地元住民の要望を十分聞いているのか。

答 十分聞いています。勾配もカーブも緩くなり、観光バスも通過できます。

〔議案第 15 号〕 阿草辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定（橋と市道新設）

橋梁架設工事と市道新設工事のため整備計画をつくりま

阿草辺地の市道青田阿草線で、大規模な法（のり）面崩壊により通行止めになっていることから、篠山川を渡る橋梁架設工事と市道新設工事を実施するため、新たに整備計画をつくるものです。
事業期間：平成 28 年度～5 年間
事業費：6 億 6 千万円（辺地対策事業債）

問 橋と市道の幅員はどのくらいか。

答 橋も市道も幅員 4 m です。橋の上から恐竜発見現場周辺を見ることができます。

決議第 1 号
監査請求に関する決議が
可決されました

産業建設常任委員会から、ふるさと丹波市定住促進会議との業務委託について及び同会議に関する事務における公費（人件費含む）の支出について監査請求に関する決議が提出され、賛成多数で可決されました。報告期限は、平成 28 年 5 月末日まで。

予算特別委員会

〔議案第 53 号〕 一般会計補正予算（第 6 号）

歳入では、市税、地方交付税、国県補助金などを増額する一方、基金繰入金、市債を減額。歳出では、国の補正予算による追加事業分を増額して繰り越し、事業精査による減額など、歳入歳出 6.8 億円を減額補正しました。

篠山清掃センター運営負担金について

12 月の補正予算で、「篠山市と施設運営経費の負担割合の見直しを進めるべき」との議会の意見を受け一旦削除されていましたが、今回再計上され可決しました。

問 12 月補正予算から一旦削除されて以降の経過と、今後の方向性は。

答 篠山清掃センターの検討状況について、1 月 13 日の両市副市長協議で規模縮小について協議したところ、即日、管理委託業者に情報収集するとともに、国に規模縮小した場合も補助対象となるか確認中です。長寿命化についても、規模縮小を含め検討していくと 2 月開催の運営協議会でも回答を得ました。今後とも連携を密に対応したいと考えています。

「1 億総活躍社会」の実現に向けて地方創生加速化交付金を計上

各自治体が地方版総合戦略の先駆性を高め、地方の雇用創出や新しい人の流れ、まちの活性化などの実現に寄与することなどが期待されています。

問 加速化交付金の進捗状況と今後の予定は。

答 予算は 27 年度中に確保し、実施は翌年度に予定しています。3 事業を国に申請中です。

福祉バス運営事業の減額について

道路運送法の改正により、新たにバス借上げ補助事業を平成 27 年度から開始したことに関して、当初予算よりも 336 万円減額となりました。

問 対象者が減ったのか、利用者が減ったのか。

答 200 件の見込みで 50 件の減と合わせ、満額 5 万円の申請に満たないものが多数あり減額となりました。

産業建設常任委員会

〔議案第 37 号〕市立ふれあい交流施設条例を廃止する条例の制定

JR 石生駅のふれあい交流施設を廃止し今後の利活用を考えます

JR 石生駅にあるふれあい交流施設は、観光情報の発信と都市との交流の場として設置され、市観光協会が管理運営されてきました。しかし、利用者の減少や市観光協会の中期計画に基づく観光案内所の整理統合による閉鎖に伴い、同条例を廃止するものです。



観光案内所と 1 階喫茶店が廃止される、今後の活用策については地元と調整中です。

〔議案第 33 号〕市立大杉ダム自然公園に係る指定管理者の指定

大杉ダム自然公園の指定管理者を前山地区自治振興会に指定します

市立大杉ダム自然公園（市島町徳尾）の指定管理者を、平成 28 年度から 5 年間、前山地区自治振興会とするものです。

問 指定管理料で、過去 5 年間の実績と 32 年までの見込み額が毎年約 30 万円なのにに対し、27 年度だけが 180 万円余だったのはなぜか。

答 豪雨災害復旧の一部負担で、前山地区自治振興会による流木の取り除きなどの経費です。

中小企業及び小規模企業の振興に関する施策を総合的に推進し、地域産業、地域経済の発展及び市民生活の向上に寄与することを目的として、丹波市中小企業及び小規模企業振興基本条例を策定するための調査研究を行う特別委員会（太田喜一郎委員長）を設置しました。

委員は議員 9 人で、任期は平成 28 年 3 月 25 日から調査終了まで。

民生常任委員会

〔議案第 31 号〕指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例改正

介護予防認知症対応型通所介護施設に運営推進会議を設置し、地域との交流を義務付けます。

問 運営推進会議のメンバーは。また、地域との交流はどうするのか。

答 利用者とその家族、地域住民の代表、市職員等で構成されます。交流は、自治会等と連携します。



〔用語解説〕

指定管理者 市などが行う公共施設の管理・運営を代行して行う各種法人・団体（委託とは異なる）。

丹波市議会初！市議会による施策に関する条例の制定に向け特別委員会で調査研究中。

※議会基本条例や定数条例のように、議会自らの事項を定める条例・規則や、議決事項を定める条例などの制定はこれまでから行っていますが、市の一般施策に関して議会から提案して制定された条例は、丹波市ではこれまで例がありません。

丹波市中小企業及び小規模企業振興基本条例に関する調査特別委員会を設置しました

3月定例会 議案の審議結果

会期：2月24日～3月25日

■全員賛成で可決した議案

予算	【詳細は2～5ページ参照】
議案第2、3、5、7～11、13号 平成28年度 国民健康保険特別会計事業勘定 国民健康保険特別会計直診勘定、 介護保険特別会計サービス事業勘定、 訪問看護ステーション特別会計、地方卸売市場特別会計、 駐車場特別会計、看護専門学校特別会計、 農業共済特別会計、下水道事業会計	

人事案件
同意第1～3号 人権擁護委員の候補者の推薦

補正予算（3月）	【詳細は8ページ参照】
議案第53号～62号、64号 平成27年度一般会計（第6号） 国民健康保険特別会計事業勘定（第2号） 国民健康保険特別会計直診勘定（第2号） 介護保険特別会計保険事業勘定（第3号） 介護保険特別会計サービス事業勘定（第3号） 後期高齢者医療特別会計（第2号） 訪問看護ステーション特別会計（第2号） 市立地方卸売市場特別会計（第2号） 看護専門学校特別会計（第3号） 農業共済特別会計（第3号） 下水道事業会計（第3号）の各会計補正予算 承認第2号 議案第53号平成27年度一般会計補正予算（第6号）の原案訂正	

項目	議案番号	件名
承認	1	税条例等の一部改正
同意	1	人権擁護委員の候補者の推薦
	2	人権擁護委員の候補者の推薦
	3	人権擁護委員の候補者の推薦
議案	14	朝阪・福田辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
	15	阿草辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
	16	徳尾辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
	17	大名草辺地、大稗辺地、小稗辺地、遠阪辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
	19	表彰条例の一部改正
	20	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
	21	行政不服審査会設置条例の制定
	22	職員の給与に関する条例等の一部改正
	23	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
	25	非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正
	26	まなびの里づくり協議会設置条例の制定
	27	男女共同参画計画等策定委員会設置条例の制定
	28	市有財産の無償譲渡（三方自治会）
	29	消防団員等公務災害補償条例の一部改正
	31	指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

項目	議案番号	件名
議案	32	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正
	33	市立大杉ダム自然公園に係る指定管理者の指定
	34	市立生郷交流会館に係る指定管理者の指定
	35	市立交流会館かどの郷に係る指定管理者の指定
	36	農業共済事業事務費賦課総額及び賦課単価の決定
	37	市立ふれあい交流施設条例の廃止
	39	市立青垣木工センター条例の廃止
	40	市道路線の廃止（市道特32号線）
	41	市立石生第1公園に係る指定管理者の指定
	42	市立石生第2公園に係る指定管理者の指定
	43	市立西中東公園に係る指定管理者の指定
	44	市立西中西公園に係る指定管理者の指定
	45	市立西中南公園に係る指定管理者の指定
	46	市立西中北東公園に係る指定管理者の指定
	47	市立西中北西公園に係る指定管理者の指定
	48	市立喜多農村公園の廃止
	49	市立公園条例の一部を改正する条例の制定
	50	火災予防条例の一部を改正する条例の制定
	51	アフタースクールの設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
	52	特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
	65	氷上多可衛生事務組合規約の変更
	66	家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
発議	1	中小企業及び小規模企業振興基本条例に関する調査特別委員会の設置

■賛否が分かれた議案

※議長は特別多数議決を除き採決に加わりません。

議案 番号	件 名	結果	賛 成	反 対	垣 内 廣 明	坂 谷 高 義	木 戸 せ つ み	岸 田 昇	平 井 孝 彦	前 川 豊 市	西 脇 秀 隆	西 本 嘉 宏	田 坂 幸 恵	藤 原 悟	足 立 克 己	太 田 一 誠	太 田 喜 一 郎	山 本 忠 利	土 田 信 憲	横 田 親	荻 野 拓 司	林 時 彦	白 井 八 洲 郎	奥 村 正 行
1	一般会計予算	原案可決	16	2	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
4	介護保険特別会計保険事業勘定予算	原案可決	16	2	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
6	後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	16	2	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
12	水道事業会計予算	原案可決	14	4	-	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
18	第3次丹波市行政改革プランの策定	原案可決	16	3	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
24	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例の制定	原案可決	17	2	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
38	市立さんなん観光案内所条例を廃止する条例の制定	原案可決	16	3	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
63	水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	14	5	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-
請願 第2号	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める請願	不採択	2	16	-	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
決議 第1号	監査請求に関する決議	可決	12	5	-	○	○	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	-	×	○	-

※決議第1号 16P P8 参照

※賛成・反対討論については、討論を行った議員の欄を朱色で網かけしています。

市政をただす！

3月定例会一般質問

9会派の代表と9人の議員が、市政に対する一般質問を行いました

各議員が決める

質問内容は、議案とは関係なく議員個人が決め、市の見解を求めます。

3月は代表質問も

3月定例会では、各会派代表による代表質問も行われました。質問順序は、前回2番目に質問した会派からです。

制限時間は60分

議員一人あたりの制限時間は60分です。一問一答方式で行い、答弁を市長や各部長に求めます。



〔代表質問〕 新生会

市の財政は
持続可能な財源なのか

荻野拓司議員

問 28年度予算は、計画を具現化する予算とされ、一般会計は393億円とこれまでの最大規模になっている。財政見通しでは32年度から赤字となる。毎年10億円ぐらいが見込まれる中で、合併特別債や基金を取り崩す現状から、「持続可能な財源」と捉えることができるのか。

答 現在、本市の財政は、比較的安定した状態を維持していますが、今後、予算規模の増大要因があり、予算の見直しや第3次行政改革に取り組んでいきます。

問 2病院を統合した新病院の開設に合わせ、市が整備する「丹波市地域医

療総合支援センター（仮称）」の機能強化はどのような考えか。

答 医療と健康や福祉、介護の分野で連携を図ります。

問 U・イターンの促進は、今後、官民協働でどのように取り組む考えか。

答 必要な業務概要は市で決めますが、企画運営は民間ノウハウの活用を図っていきます。



丹の里創生総合戦略と丹波市行政改革プラン



〔代表質問〕 みどり・自由クラブ 林 時彦議員

丹波市立看護専門学校の
今後は



看護学校卒業式

問 市立看護学校は医師よりも不足している看護師の育成と地元定着の二つの使命があると考える。生徒数、学力育成、地元定着、学生寮の考え方を聞く。

答 老朽化した校舎の建て替えによる教育環境の整備をして、他校と比べて授業料が安いこと、長い歴史の中で多くの看護師を輩出して

きたことなど学校の魅力をアピールしてまいります。また、国家試験の合格率を100%に近づけ、指導体制を整えます。

地元定着のために、地域枠入試や修学資金貸与制度を実施し、優秀な学生の確保のためには学生寮も必要だと考えております。

問 「家」の存続が難しくなっている。今後のコミュニティのあり方や地域づくりについて市民のみなさんと考えてべきだ。

答 自治協議会、市民団体、女性の活躍等の多様な視点を持って、広範で活発な議論を展開する必要があります。

*一般質問の原稿は、質問した議員が各自作成しています。

「代表質問」 市民クラブ



豪雨災害からの
復旧・復興事業について

土田信憲 議員

問 先の豪雨災害による農地等復旧について、補助金申請期限後に確認された被災案件について

受益者負担の軽減措置を導入すべきでは。補助金受付終了後に被災箇所の報告があるのも事実ですが、現時点では被災時期の判定が困難なことから、通常の補助金制度のご利用をお願いします。

答 復興プランにある「災害メモリアル公園等整備事業」はどのような構想で事業を進めるのか。

問 豪雨災害から得た経験や教訓を全国に発信していくことも重要な使命と認識し、市民参加の検討委員会を設置

し、参画協働のもとに特徴的な被災箇所をメモリアルとして、観光、学習、体験の周遊コースを整備し地域活性化を図る事業とします。

問 行政評価システムの書式の見直しが必要では。

答 従来の取組みを継承しつつ見直し、市民の皆様にかかりやすくする視点で取り組みます。

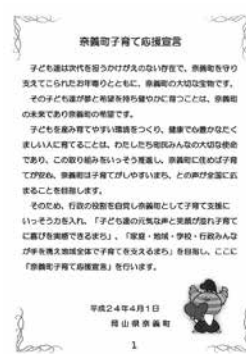


丹波市復興プラン

「代表質問」 日本共産党議員団 西本嘉宏 議員



「子育て応援宣言」で
施策の充実を



奈義町の「子育て応援宣言」

問 子育て応援宣言を行い、出産祝金、高校卒業までの医療費無料化、保育料や学校給食費軽減を。

答 宣言は意見として伺いました。出産祝金や高校卒業までの医療費無料化は検討します。保育料は国基準の3割を超える軽減をしております、給食費の値上げを抑えます。

問 関係地域との合意がでない東芦田新水源と桧敷水源問題は、どこに問

題があるのか。

答 水道部への不信とマンガに対する不安が払しょくできていないことです。

問 新水源の廃止を検討し、氷上中央から春日への配水量を増やしてはどうか。

答 廃止の検討はできません。氷上中央区域の余力は必要です。

問 市民所得の向上のため公契約条例の制定とコメ等の価格保障制度の検討を。

答 公契約条例は、内部検討委員会を立ち上げ検討します。コメの価格保障は、現在国で検討されています。

「代表質問」 丹民クラブ



子どもの権利を守る
条例の制定は

平井孝彦 議員



子どもの権利条約の4つの柱

帯の経済・生活状況の実態調査が必要と考えるが。

答 国の補助金の活用を検討します。

問 いじめ・不登校で、教師との信頼関係と人間力の熟成が重要と考えるが。

答 学校の組織力と教員の資質向上を図ります。

問 児童館での中高生の活用策は。

答 児童館の設置趣旨から活用は難しいと考えます。

問 障がい者やニート・ひきこもりの就労相談の対応は。

答 福祉就労から一般就労へと多様な働き方で、能力発揮の創出に努めます。

問 子どもの貧困対策で、子育て世

答 市民が子どもの権利について考え、行動する事が大切と考えます。現段階では必要ないと考えます。

問 子どもは丹波市の宝物です。貧困、いじめ、虐待などから、子どもの権利条約に保障された人権を守る子どもの人権条例制定の考えは。

答 市民が子どもの権利について考え、行動する事が大切と考えます。現段階では必要ないと考えます。

問 子どもは丹波市の宝物です。貧困、いじめ、虐待などから、子どもの権利条約に保障された人権を守る子どもの人権条例制定の考えは。

〔代表質問〕 新風会

太田喜一郎 議員



本庁舎の機能集約及び整備統合は

問 本庁舎の機能集約と整備統合を早く進めてはどうか。

答 まずは庁内での検討から着手し、議会や、市民の代表を含む委員会での意見を聞き取ります。

問 庁舎整備計画に民間活力の導入としてPFI手法等の導入を検討してはどうか。

答 整備計画を進める中で必要に応じ並行して検討します。

問 シルバー人材センター事務所移転後の水防センターはどうか活用するのか。

答 本来の目的である水防・防災の拠点として体制の整備をします。

問 上下水道部の施設集約は早急に

進めるべきだ。

答 地域医療総合支援センター（仮称）の開設に合わせ平成30年度に取組みます。

問 教育委員会は本庁舎周辺に移設するべきと考えるがどうか。

答 本庁舎周辺の利用可能な施設の利用可能な施設の状況を踏まえ検討します。



市役所本庁舎

〔代表質問〕 丹の会

垣内廣明 議員



減災への対応は

問 安心・安全なまちづくりには計画的に減災対策を行うっていく必要がある。その為の対応は。

答 継続して減災対策の現地調査や対応の検討を行うとともに、今後もソフト・ハードの両面から防災・減災対策を行うていきます。

問 加古川流域の水対策は調査も終わり、方針が出されたものと思うが、今後の対応は。

答 応地川では、さらに詳細な状況確認を進め最適な対策案の抽出を行っていきますが、もう少し時間を要します。その間の備えとして、仮設ポンプでの対応も検討していきます。



床上浸水した住居

問 安心・安全なまちづくりには、財政状況を考え、部署間の枠を超えた幅広いメニューの選択や検討が必要では。

答 部署間を超えた幅広いメニューの中から互いに知恵を出し合い、検討・協議していくという視点は重要でありますので、今後も引き続き連携強化を図っていきます。

〔代表質問〕 丹政クラブ

岸田 昇 議員



シティマネージャーの導入

問 第3次行革プランでは、庁舎の集約と交通網の整備を一体的に取り組む検討の結論を早期にとあるが、いつ頃か。

答 31年度までを想定しています。

問 災害時でも、行政機能を確保し継続的に業務が遂行できる計画策定を。

答 組織としての機能が最大限に発揮できる遂行体制を検討します。

問 国家公務員や大学の研究者、民間の人材を市長の補佐役として派遣する地方創生人材支援制度を受け入れないのか。

答 どのような分野にどのような専門的能力を有する人材を求めるのか活用は慎重に検討します。



第3次丹波市行政改革プラン

問 市が委託し市の補助金を受けて活動する中間支援組織ではなく、行政等に提言できる組織の育成をしては。

答 中間支援組織は丹波市には必要であり育成していくとともに、公正性、公平性、透明性を高め、公的資金が財源になるに相応しい組織として改善を図ります。

〔代表質問〕 公明党

田坂幸恵 議員



障害者差別解消法について 市の取り組みは

問 市の取り組みは。

答 この2月に、全職員を対象に同法の周知と手話言語条例の説明会を実施し、今後は不当な差別的取り扱いにあたる具体例や合理的配慮の事例等を示した職員対応要領の策定なども進めます。また、引き続き普及啓発に努めるほか、「障がい者理解の事前講座」を実施し、自治会や事業所等での開催を働きかけ、支援協議会の設置について前向きに検討します。

問 教育現場の取り組みは。

答 小中学校教職員を対象に法の趣旨、経過、保護者との合意形成の図り



さいたま市祖父母手帳

方、合理的配慮の視点に立った具的的支援方法等周知を図ってきたところ です。

来年度は、特別支援教育支援・介助員の増員、看護介助員の配置等の基礎的環境整備を充実させる予定 です。

問 たんば市祖父母手帳について

答 研究し冊子なども含めて検討します。

〔個人質問〕

前川豊市 議員



学校統合前には 現学校に人的配置を

問 青垣小学校の開校が29年4月である。統合の前年度として統合前の多くの業務に対応するためには人的配置が絶対必要であるが、どう考えているか。

答 統合への準備と統合後の学校づくりに向けた支援等は、学校と十分協議しながら対応していきます。来年度も、人事配置を含め学校支援策を講じ、円滑な開校を目指します。

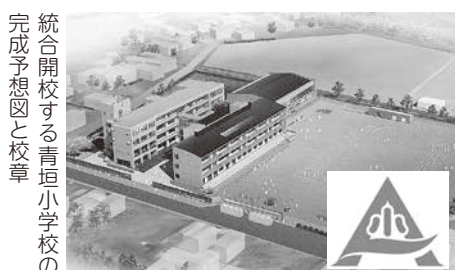
問 今年の12月が市長の任期であり、市民の関心も高いところですが、四期目に向けた市長の考えは。

答 今は新年度の予算を提案しているところであり、お答

えで考えることは合わせておりません。

問 氷上町の東・南地区の認定こども園について、地域協議会での協議結果は、生郷で一園、沼貫で一園を希望されていると聞か

答 地域協議会の協議結果を踏まえて、その方向を検討していきます。



統合開校する青垣小学校の完成予想図と校章

〔個人質問〕

西脇秀隆 議員



高浜原発再稼働に 反対すべきではないか

問 市民の「安全安心」のために高浜原発再稼働に市長として反対すべきではないか。また、市の「原子力災害対策」を策定すべきではないか。

答 国策としてすすめられている原発再稼働に反対を表明する立場ではないと考えています。原子力災害対策については今年度開催された防災会議において、地域防災計画の改定に盛り込んでいます。

問 地域活性化のために、自治協議会との連携を密にすべきではないか。人口減少が著しい地域に特別対策をすべきではないか。

答 今年度は市民生活動課を中心に、自治協議会への個別訪問を昨年7月から8月に行いました。今後も連携を密にしていきます。人口減少対策は「丹の里総合戦略」において自然減をくい止め、社会増に転じる具体的施策を実施していきます。特定の地域に限定した施策は難しいと考えています。



事故後の福島第一原発

〔個人質問〕



足立克己 議員

青垣、遠阪地区重要
里地里山について

問 遠阪地区が環境省が選定する重要里地里山に選ばれたが、選定を受け市はどのように取り組むのか。

答 行政、地域住民、環境保全活動団体等と協力して支援の仕方を検討します。

問 東芦田新水源の運用案が、青垣、幸世地区に示されたがその後の結果は。

答 両地区とも「運用案を前向きに受け入れる」となっていますが、まだ東芦田新水源の使い方について詳細な事項の協議が必要です。

問 新規就農した人が様々な理由により就農を断念する事を、市はどのように把握しているか。

答 市等に相談があった場合、市、JA、丹波農業改良普及センターで構成している丹波地域就農支援センターにより情報を一括管理し、就農前から就農後までの支援を、プロジェクトチームを編成して情報共有しています。

問 市等に相談があった場合、市、JA、丹波農業改良普及センターで構成している丹波地域就農支援センターにより情報を一括管理し、就農前から就農後までの支援を、プロジェクトチームを編成して情報共有しています。



平野地区の住民参加型森林整備事業

〔個人質問〕



太田一誠 議員

子どもに郷土愛の
感じられる施策を

問 青垣地域の小学校統合で「学びの場」を如何に考えるか。「平成たんば塾」は地域で柏高SGH等を活かす考えはないのか。

答 学びの場は旧小学校区と考え、学校の取組みに加えて各地域でもふるさとの良さを伝えていただきたいと考えています。

問 顔見知りの活動ができないか。

答 市民・議会・市・社協を巻き込んだ提案を考えます。

問 病院の跡地利用の具体化は。

答 概ね28年度末を目途に検討し県に要望を考えます。

問 オリンピック・ワールドカップクラスの応援支援施設



企業や自治会が応援する中でのWCの様子

答 策がないのか。新型交付金支援施策や企業版ふるさと納税の総合戦略等、企業が寄附をした場合優遇税制を仕掛け、個人版ふるさと納税も含め、「世界へ頑張る子どもに特化した支援応援」が丹波市の交流人口や財源の確保に役立つのでは。

問 市民の主体的な応援に連携し検討します。

〔個人質問〕



藤原 悟 議員

地域の活性化対策の
取り組みを問う

問 今後、各支所の機能強化が必要では。

答 支所機能のあり方については、その取組みに併せて、市民サービスの視点を踏まえつつ検討します。

問 青垣地域の小学校統合後の旧三校舎の有効活用を。

答 小中学校・廃校舎施設等・活用検討会議において利



地域の活性化に資する校舎の活用を（神楽小学校）

活用に関する基本方針を策定しました。公共的な施設としての利活用ができない場合は、校区住民のみなさんと十分協議を行います。

問 均衡ある地域振興を図るため地域振興基金の有効活用を。

答 公共交通対策なども含めて、市の重要課題を解決するための事業に活用していきます。

問 丹波ファン拡大等のために、ふるさと寄附金の制度・周知にさらなる工夫を。

答 魅力的な記念品を取り揃えるとともに、ふるさとチョイス上の宣伝広告等により、さらなる寄附者の増加に努めます。

〔個人質問〕



東芦田新水源問題
解決に向けて

白井八洲郎 議員

問 東芦田新水源は今回の運用案からして必要なのではないか。何故、廃止できないのか、その理由を明らかにするべきだ。

答 丹波市の各浄水場は、その計画給水区域内における最大の給水量に対応できるだけの能力を確保するように整備しているところだ。東芦田新水源もこの点から必要であり、廃止は考えていません。

問 市としての「運用案」について幸世地区自治会は、それぞれ賛否両論ある。この市の「運用案」では地域の了解が得られない。市はそれでも押し進めるのか。

答 市としては地域の意見も取り入れ、この「運用案」を提案したので、この「運用案」でいきなりと考えています。

問 氷上中央浄水場の春日への水融通を抑えることが解決への道だ。氷上中央浄水場からもっと増量できないか。

答 氷上中央浄水場の余力は必要です。



氷上中央浄水場

〔個人質問〕



企業誘致を積極的に

木戸せつみ 議員

問 地震に強い丹波市へ企業誘致を強力に呼びかけてはどうか。氷上工業団地がなくなった今、柏原病院跡地を工業団地に指定してはどうか。

答 恐竜化石が発見されたように太古の昔から地殻変動や大地震がないことを企業に宣伝し誘致活動をしています。柏原病院跡地は28年度から市で検討会議を設け、県と相談します。

問 雇用促進住宅の半数150戸は現在住んでおられる。市は雇用促進住宅を市営住宅として購入すべきだ。佐用町や相生市は購入し、3年後から黒字で運営している。

答 丹波市は購入しません。30年までに民間が買収しなければ住民は退去しなければならず、住宅相談窓口を設けます。

問 丹波市が生き残るには市を運営する新たな人材が必要だが市長の考えは。

答 丹波市は購入しません。30年までに民間が買収しなければ住民は退去しなければならず、住宅相談窓口を設けます。



県立柏原病院と氷上工業団地の看板

〔個人質問〕



空き家・移住・子どもの貧困への対応は

横田 親 議員

問 丹波市内の空き家対策が、他市と比較して特徴的な点は。

答 空き家対策のあらゆるメニューを網羅した点をはじめ、空き家を発生させない対策、適正管理対策を講じることが特徴です。

問 兵庫県の推進するカムバックひょうご東京センターとの連携は。

答 今年度はこれまで丹波市に移住された方に関する定期的な情報発信を行うことを前提とし、移住相談案件が大幅に増加する東京圏での移住支援に向けて県にも働きかけつつ、より効果的な移住施策を検討します。

問 丹波市でも「子ども食堂」のような場づくりの支援ができないか。

答 重要な取り組みである認識しておりますが、現状はマンパワーに課題があり、市民主導の継続的な取り組みが創成・実践されていく際に、市として協力や支援できる部分で対応していきます。



交流施設用に改築中の空き家



市の教育の 在り方について

問 学力向上事業のなかで、丹波市学習定着度調査、259万2千円の予算が組まれています。が、今現在市の児童・生徒の学力は他地域と比べて向上しているか。

答 市の学力状況については、全国と比較して同程度となっており、又ここ数年で学力が向上している傾向が見られています。

問 学校適正規模、適正配置による新しい学校運営についての小規模ネットワークの導入の話がありますが、今も教育委員会の中ではこのことを視野に入れた研究されているか。

答 青垣、山南地域はもちろん、市島地域でも、小規模校を存続させる場合の一つの方策として、小規模校ネットワークについても協議いただいてきました。来年度開催予定の春日地域の考える会についても、協議いただくことにしています。

青垣、山南地域はもちろん、市島地域でも、小規模校を存続させる場合の一つの方策として、小規模校ネットワークについても協議いただいてきました。来年度開催予定の春日地域の考える会についても、協議いただくことにしています。



建築中の青垣小学校

病院 統合 - 2 -

新病院建設までの議会の動きをお知らせします。



兵庫県知事に
意見書を提出しました

新病院の建設にあたって特別委員会で協議を重ね、兵庫県知事に意見書を提出しました。主な内容は次のとおりです。

* * *

◇新病院の充実について

新病院は、丹波圏域の中核病院として急性期から慢性期までの充実した医療が提供でき、丹波の自然と調和した、潤いと安らぎのある施設となるように十分配慮されたい。

◇駐車場対策

来院者の駐車スペースが不足することがないよう一部高層化も検討するとともに、空きスペースの情報情報を掲示する案内板を整備されたい。

◇整備費用の負担

センターの本体工事及び土地取得以外の費用については、兵庫県が主体的に負担されたい。

◇浸水対策

建設地周辺は浸水被害が起こりやすい地域であることから、建設敷地内に降った雨水の一時貯留施設を整備するなど、周辺地域の浸水対策に配慮されたい。

◇交通アクセス対策

「路線バス」

市内遠方地域からの利便性を図るため、路線の新設・休止路線の復活・既存バス路線の見直しを行い、新病院等へのアクセスを確保できるようにされたい。

◇周辺道路対策

県道稲畑柏原線（かやがし）萱刈峠の改修等、周辺道路整備を行い、市道特9号線から敷地東側への進入道路は施設道路として整備されたい。

◇平日夜間応急診療、休日応急診療の充実

夜間・休日応急診療所については、診療科の充実及び診療の継続に向け、輪番に加わりたい。

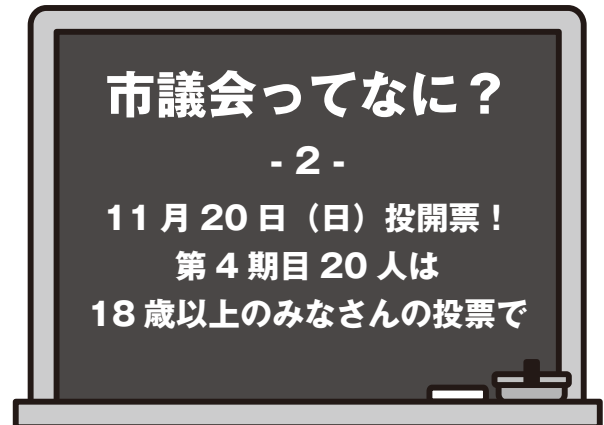
北播磨総合医療センターと 公立八鹿病院看護専門学校へ 視察に行ってきました

右から①公立八鹿病院看護専門学校学生寮について説明を聞く議員 ②北播磨総合医療センター内の案内表示板 ③明るい色調と大きな番号で分かりやすく表示されたセンター内。





たくさんの市民
が市政や政治に関心を
持ち、みんなでよりよい
まちをつくっていきける
といいですね。



市議会ってなに？

- 2 -

11月20日（日）投開票！
第4期目20人は
18歳以上のみなさんの投票で

「市議会議員」って何する人？

市議会議員は、市民のみなさんが望んでいることを市に提案し、より住みよいまちにしていこうと仕事をしています。例えば・・・

- * 市の大切な決まりである「条例」を決めたり、廃止したりする。（→P 8 参照）
- * 市がいろんな事業をするためのお金（予算）を決めたり、そのお金が正しく使われたかを調べたりする（決算）。（→P 2～5 予算、P 8 監査請求参照）
- * 市の事業が正しく行われているかを調べる。
- * 市民から出された意見や要望が、丹波市のために必要かどうかを調べる。
- * 国や県に対して、「こうしてほしい」という意見を提出します。（→P 17 参照）

次の「市議会議員選挙」から18歳以上に

丹波市議会には、現在20人の議員がいます。合併当初、定員は30人でしたが、議員定数条例の改正により平成22年12月から20人に変更されました。

議員は、4年ごとに行われる市議会議員選挙で選ばれ、今年の11月20日（日）には、第4期目の市議会議員を選ぶ選挙が行われます。

投票は、18歳以上の丹波市民によって行われ、満25歳以上の丹波市民なら市議会議員に立候補する権利もあります。

この選挙を機に、もっとたくさんの若い人たちに市政や市議会に関心を持ってもらえるといいですね。

■議会をもっと身近に！

会議録が検索できる

過去の会議録を見ることができます。丹波市議会のホームページから、会議録検索システムに入ることができます。

議会に参加できる

議会に対して要望や陳情・請願などを提出することができます。議会で可決されれば、国などに対し議長名で意見書を提出することもできます。

ネット中継でわかる

本会議及び委員会の様子をライブ配信（本会議は録画配信も）しています。パソコンやスマートフォン、タブレットでご覧になれます。

スマホでチェック！

インターネット中継はこちらのQRコードからもご覧いただけます。

※パケット通信料がかかります。また、機種や環境によりご覧いただけない場合があります。



意見を伝えられる

議会だより裏面の「みなさんからのひとこと」や、市のホームページの「お問合せフォーム」で、議会に対するご意見を伝えることができます。

議会日程がわかる

市議会のホームページやフェイスブック、議会だよりで、議会日程などがわかります。

本会議や委員会の開催日、ネット中継、過去の会議録など、ホームページでCheckしよう！



丹波市議会

検索

「市政」について
みなさんのご意見を
直接お聴きする
大切な機会です。

議会からは
議会の審議内容や結果を
ご報告します。

みなさんご参加を
お待ちしております。

活動状況報告と意見交換会

議会報告会を開催します

5月16日(月)～17日(火)



開催日程（時間：午後7時30分～9時15分）



* 青垣地域	5月16日(月)	青垣住民センター 大会議室(2班)
* 山南地域	5月16日(月)	和田地域づくりセンター 大会議室(1班)
* 市島地域	5月16日(月)	市島農村環境改善センター ホール(3班)
* 柏原地域	5月17日(火)	新井ふれあいセンター 研修室(1班)
* 氷上地域	5月17日(火)	氷上住民センター 大会議室(2班)
* 春日地域	5月17日(火)	ハートフルかすが 大会議室(3班)

班編成（担当議員）※班長・副班長・班員の順に記載

- * 1班 林 時彦、太田喜一郎、木戸せつみ、岸田 昇、西脇 秀隆、足立 克己、太田 一誠
- * 2班 山本 忠利、平井 孝彦、坂谷 高義、土田 信憲、横田 親、荻野 拓司
- * 3班 前川 豊市、西本 嘉宏、垣内 廣明、田坂 幸恵、藤原 悟、臼井八洲郎

このまちの「あした」がみえてくる。

議会傍聴に お越しく下さい

市議会の定例会や委員会では、市民のみなさんのこれからの生活に直接関わる大切な議案などについて議員が質疑を行い、慎重に審議しています。傍聴をご希望の方は、市役所3階議会事務局までお越しく下さい。

受付で傍聴者
受付簿に住所と氏
名をご記入の上、
会議資料を受け
取ってお入り
ください。



■6月定例会の日程

日	曜日	内 容	開会時間
30	月	本会議（議案提案）	9：30
9	木	本会議（一般質問）	9：00
10	金	本会議（一般質問）	9：00
13	月	本会議（一般質問）	9：00
15	水	本会議（議案質疑）	9：30
17	金	常任委員会	9：30
20	月	常任委員会	9：30
21	火	常任委員会	9：30
24	金	本会議（議案の採決）	9：30

*上記の日程は変更になる場合もありますので、最新の情報はホームページでご確認ください。

私 たちが丹波の自然に対する理解を深め、それを守ろうという意識を持てば、人も生物も住みやすい丹波になると思う。川や道端にゴミが落ちている光景を見ると、丹波の自然環境がもったいないと感じる。

柏原高校3年
橋本野々花さん（柏原地域）

授 業で丹波のことを調べ、「地域づくり大学」などで大人の方と意見を交わし、語り合う楽しさを知った。これからの丹波を担う私たち高校生の思いを、多くの人に伝えたい。そして丹波の活性化に貢献していきたい。

柏原高校3年
井本日和さん（氷上地域）

私 の望む丹波市は、道端や川にごみがないことです。綺麗な道だと禁止しなくてもごみを捨てる人はいないと思います。丹波市民がそのような環境をつくっていけば、もっと住みやすいまちになると思います。

氷上西高校3年
足立恵美理さん（青垣地域）



【テーマ】丹波市に望むこと（高校生からのメッセージ）

ぼくたちのまちをこんなまちに



生 徒会活動の一環として、地域教育フォーラムや丹波市主催のイベントに参加しました。丹波市政の一部を担っているようで気分が高揚しました。若い世代の意見を取り入れる機会を増やしてパワフルなまちにしたい。

氷上高校3年
藤本侑也さん（春日地域）

昨 年は地域活性化に向けた講座に参加させていただき、丹波のことをよく知ることができました。今年は、地域の様々な行事に積極的に参加したいと思います。そして、丹波がより元気になるような手掛かりを見つけてみたいです。

柏原高校2年
待場啓太さん（山南地域）

近 年、介護の問題がよく取り上げられます。丹波市でも高齢化が進んでいます。魅力的なまちとは、高齢者が安心して快適に暮らせる社会です。医療や介護制度を今以上に充実させる施策をお願いします。

氷上高校3年
松井優美夏さん（市島地域）

発行責任者 奥村 正行
議長 横田 親
議会報編集委員会
委員長 太田 一誠
副委員長 木戸 せつみ
委員 西脇 秀隆
委員 足立 克己
委員 荻野 拓司

市 長、市議会議員も本年12月には改選を迎え、総仕上げに入りますが、議会編集委員も一同、今期の結実に向けて一層精進をしてまいります。

新 年度がスタートしました。28年度予算は、これまで樹立されたさまざまな計画を具現化する予算と位置付けられています。これから季節ごとにいろいろな花が次々と開花し実を結ぶように、多くの事業計画が実行に移され、大きく実を結ぶことを期待するところで

編集後記